

図書館だより

市立図書館



◆図書館の貸出利用状況

平成26年度の本の貸出利用状況をお知らせします。

男女比では、男性が31%、女性が67%で、圧倒的に女性の利用が多くなっています。また年代別では、60歳代が23%、次いで小学生の利用が18%となっています。

逆に利用が少ないのは、中学生・大学生の年代（1〜2%）で、利用増加を図るためにも蔵書の整備を行い、毎日行きたくなるような魅力的な図書館づくりが必要だと考えています。

次に、貸し出しの多い本の分野については、成人の利用で、小説等の文学作品、次いで絵本が多く貸し出されています。絵本は、子育て中の30代女性の利用が多く、子育てコーナーを設置しています。今後さらに就学前の絵本を充実させていきたいと考えています。

また、幼稚園や保育園、学校等における読書ボランティアの活躍で、絵本の貸し出しが増加しています。児童の利用で多いのは文学作品で、次いで絵本となっています。

学校の授業で使う団体貸し出しも増加しています。

◆ベストリーダー（よく読まれた本）

- 一般図書
 - 1位 虚ろな十字架（東野圭吾）
 - 2位 日本橋本石町やさぐれ長屋（宇江佐真理）
 - 3位 その鏡は嘘をつく（葉丸岳）
- 児童図書
 - 1位 かいけつゾロリつかまろ！（原ゆたか）
 - 2位 竜巻サバイバル（リメ）
 - 3位 名探偵コナン理科ファイルものと燃焼の秘密（青山剛昌）

- 絵本
 - 1位 妖怪交通安全（広瀬克也）
 - 2位 あーあー（三浦太郎）
 - 3位 プリンちゃんモンブランばあば（なががわちひろ）

◆臨時休館日のお知らせ
 本館 3月3日（火）〜5日（木）
 香北分館 3月2日（月）
 物部分館 3月6日（金）

Pick Up



鹿の王（上・下）
 上橋菜穂子 著
 帝国から故郷を守り奴隷になった元戦士。古王国の血を引く天才医術師。民を襲う疫病の謎と陰謀に巻き込まれていく。幅広い年代にお勧めの本。



旅はときどき奇妙な匂いをする -アジア沈黙旅日記-
 宮田珠己 著
 紀行エッセイストの著者は足の痛みと仕事の悩みから勝手気ままな旅へ。個性的な中年男の迷路・珍スポット嗜好の世界を楽しみ、気分転換を！



世界の美しい図書館
 パインターナショナル 刊
 知の遺産である図書館巡りはいかがですか。遺跡〜現代の名建築が載った写真集。大学生が設計した本の箱や、映画に登場する図書館もあります。



香美市文芸

【短歌】

岡崎 桜雲 選

新年の雪の気配の北山の雲に残れる虹の断片
 七草を摘み整えて届けくるる中にも芹の殊に嬉しき
 睦月半ば足の痛みに杖つきて塀の側のレモンの実摘む
 この上に何を望まむ新春を傘寿の妻と祝う俸せ
 冬空に舞う風の糸孫の手にあやつることを教えてやりぬ
 きさらぎの野辺に菜を摘む若者に春のほひの風のささやく
 わが詠むを案じ下されし一葉を机に置いて春立ちにけり
 老二人孫喜ぶと語り合い千いもつくる一日楽しき
 壺に眠る妻蘇るかに笑む写真言葉かけ得ず笑み返し得ず
 手をつなぎ歩いた話に笑いこけ老妻いたわる夫を褒めたり
 谷間の部落にありて楮佐古の君が仰ぐは神賀山の峰か
 TPPの締結成らばコメも菜も輸入ラッシュか何培はむ
 軽やかな嫁の車の送迎に運転免許を無事に返しぬ
 白寿まで生きし麗人の訃報聞く將軍夫人の戦後よみがえり
 しゃぼん玉ぼんとはじけて青き空いとけなき日の拡がり光る
 算数のお勉強よと硬貨手に数えて嬉し満面の笑み
 ひつじ日の七草粥に充たされて近く産まれる曾孫を思う
 「無理をしなよ」と言つ息の声にこみ上げる思いのありて「うん」とのみ言つ
 渓谷にそひ登り来し久木の森三味や太鼓で人らにぎはふ
 お年玉もらった曾孫のその笑顔どこか亡き夫の面影に似る
 有名な先生の話それはそれ我が身すら思ふ様にはならぬ
 オリオンをひたと視つめて男の孫は「明日より小学最後の学期」と

岡村 敏子
 岡田美代子
 小野寺朱実
 都築 忠義
 楮佐古きよ
 山崎 貴子
 坂上のぶ子
 小松 敏子
 高野 和一
 盛岡 雛子
 森本 幸美
 大岸由起子
 小松 隆之
 山本登美子
 菲生 灯
 公文 千恵
 谷内 務
 吉本 悦子
 小松 禮子
 林田 幸子
 大石 綏子
 古川 安子

「故郷」を講師と共に二部合唱広い会場に笑顔が満ちる
 亡き夫の五十年祭終へし夜をひめやかに菊の香りながるる
 掛軸と屠蘇器を拭きて仕舞ふ嫁に暮れの疲れも癒されてをり
 ひっそりと山茶花は散り寒に入る二羽のメジロも姿を見せず
 霜柱さくさく踏みて野の道を犬と駆けゆく 初日あまねし
 甦る記憶か明けの夢にしてありありと聞く亡き姉の声
 ランドセル嬉しく背負い母と子はハートや妖怪のキャラを探しぬ
 満天に星のかがやくこの夜更け虫らの声を聞きつつ眠る
 遠い記憶の風景として夕靄のなづさふ溪とかじかの声と
 草刈りて畑耕して花咲かせ人ら住みたり心豊かに
 「めじるしに白いバラソルさして待つ」在りにし友の俳句が一つ
 夢に覚めてなぜかさみしき朝なりさみしきほどのゆめにあらずに
 牛窓の丘より向かう瀬戸の海前に島々霞む屋島も
 スカイライン登り途中の道路脇アサキマダラはフジバカマに止まる
 孫夫婦ひ孫見せむと訪ひくるるひとときなれどひ婆の至福
 手洗ひの服を叩きて型整へ仰ぐ朝日のこの爽やかさ
 おはようと言えばみどり児はにっこりと母親の背にほほえみ返す
 狛犬さん少し寒そう梅ヶ枝の下に座りてこんにちわする
 絶え間なく笺の音の沁みわたる晴ればれ呼ばるる初釜の席
 来む年も事故なき願い早々と大門松立つ署の玄関に
 友達とウインドウショッピング色々と見ているだけで楽しい時間
 君の徳を永久に讃えて園に建つ碑は「白ゆり」を見守ることく

門田 明子
 竹村 咲子
 武内 弘子
 松中 賀代
 公文 正子
 小松もとみ
 伊藤 清子
 近藤 由美
 佐竹 玲子
 都築 初代
 古谷 由美
 佐々木真理
 宮地 亀好
 山崎 淑子
 野島 富石
 岩井 純子
 中村 荷香
 野村 典子
 町 耿子
 明石 敬恵
 吉川 恵
 岡崎 桜雲

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、「ご応募ください」。

【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
 〒782-1850-1（住所記載不要） FAX 53-15958

香美市民憲章 -平成24年4月1日制定-



前文 私たちの香美市は、美しく、豊かな自然に育まれています。先人が築き上げた尊い文化や伝統を受け継ぎ、人々が愛と勇気を心に持ち、誰もが幸せを感じられるまちを目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 本文**
- 1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
 - 1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
 - 1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
 - 1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
 - 1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。



©やませはかし 香美市イメージキャラクター